

# 「日本で最も美しい村」連合加盟



十月四日(金)、島根県海士町で開かれ、美しい村「日本で最も美しい村」連合臨時総会で、和東町が新

たな加盟団体として承認されました。近年、日本では市町村合併が進み、小さくても素晴らしい地域資源を持つ村の存続や、美しい景観の保護などが難しくなっています。「日本で最も美しい村」連合は、失った二度と取り戻せない、そんな日本の農山村の景観や環境・文化を守る活動に取り組まれています。



向かって左から 美しい村連合会長の美瑛町浜田町長、堀町長、美しい村連合副会長の南小国町河津町長

京都府内では伊根町に次いで二番目の加入となりました。また、全国では、五十四町村(地域)が加盟しています。本連合への加盟について、茶源郷としての茶畑景観は町域全体に広がる多様で美しい茶畑景観だけでなく、茶畑周辺に点在する民家や周辺集落の地元素焼き瓦屋根の景観を差別化ポイントとして評価されました。また、地域力を体感できる行政と民間の一体となった体験型ツーリズムの取り組みが評価され、日本で最も美しい村連合の資格基準を満たしたと判断されました。本連合の加盟を受け今後、和東町への観光視察等の動きが活発になることも予想され、住民のみならずまにまに美へのご協力等よろしく願います。和東町では、今後ともかけがえのない自然環境やふるさと景観を後世に引き継ぐとともに、交流のまちづくりによって活気やにぎわいを創出する一方で、誰もが安心して暮らし続けられるまち、多くの人が訪れるまちをめざしていきたいと考えています。そしてこの美しい和東に住むことに誇りを持ち、これらの景観を次世代につなぐため、住民のみならずまにまにの協働によるまちづくりにご協力をよろしく願います。

## 人権の花 (和東小学校)

### スイセンの花を育てよう

「人権の花運動」は、全国的に行われていて、おもに小学生を対象とした啓発運動で、配布された花の種や球根を児童たちが協力しながら育成することを通じて、協力や感謝することの大切さを学ぶとともに、情操を豊かにし、優しい思いやりの心と人権思想を育むことを目的としたものです。

今年も、十月七日(月)に、和東町人権擁護委員の田中功さん、飯田妙子さん、岡橋聖舟さんの三人が、京都府の人権の花に指定されているスイセンの球根と鉢を児童会本部役員代表のみなさんへ手渡されました。



満開に咲きほころぶ3月が楽しみ

人権擁護委員から人権の大切さについて話を聞いたあと、球根を受けとった児童たちは「みんなで大切に育てて、きれいなスイセンの花を咲かせます。」とお礼を言い、五・六年生の児童全員で球根を植え付けました。これからの水やりなど、花を咲かせるまでの世話は、五・六年生がすることになっていて、来年の三月にはきれいなスイセンの花が咲きほころぶことでしょう。

# マウンテンバイク

## 十台寄贈

神戸の自転車輸入会社



寄贈いただいた自転車10台

九月十九日(木)、役場玄関前でマウンテンバイク等の贈呈式が行われました。

このマウンテンバイクはゆぶねマウンテンバイクパークのオープン記念としてメインスポンサーである神戸市内の自転車部品の輸入代理店株式会社マルイより本町に寄贈されました。アウトドアスポーツ会社社長で今回の「ゆぶねMTBプロジェクト」八代代表が代理で堀町長へ目録を手渡されました。

今後これらのマウンテンバイクは、ゆぶねマウンテンバイクパーク利用者に貸し出します。

〈寄贈〉子ども用マウンテンバイク十台、ヘルメット十個、空気入れ二本、ツールステーション一式  
ありがとうございました。



堀町長へ手渡される八代社長目録

# TOPEAK ゆぶね

## エンデューロ(耐久レース)開催



スタート前の選手ら

九月二十九日(日)、湯船森林公園に府内初のマウンテンバイクコースが完成し、全国から約一〇〇チーム、三〇〇人が参加して、耐久レース大会が盛大に開かれました。

アウトドアスポーツ会社846がコースの設計、整備を実施。自転車愛好家らで「ゆぶねMTBプロジェクト」を立ち上げ、七月からボランティアや湯船地区住民らの力を借りて整備してきました。台風十八号の豪雨の影響で大会自体が心配されましたが、地元のみなさんの協力のもとに開かれました。

この日のレースは、一周三、八kmの変化に富んだコースを四時間内に交代しながらチームで周回数を競う耐久レースです。

色とりどりのウエアに身を包んだ選手らが一斉にスタートし、緑豊かな森林の中を颯爽と走り抜け、未舗装の山道や細い橋など変化のあるコースを楽しみ、爽やかな汗を流した選手らは、ゆぶねのコースに満足された様子でした。

今後は、初心者用ショートコース、キッズコースも開設され、子ども対象レッスンスクールも開かれる予定です。  
町と協定締結をしている早稲田大学院生らの「森林公園を自転車競技の聖地に」との活性化策が、一つの成果を結びました。



キッズの部 スタート

# 夜出歩く時は、明るい服装で

## 相楽高齢者交通安全大会



交通安全宣言を上げる  
草水ゆき子副会長

九月十一日(水)、和東B&G海洋センターで「相楽高齢者交通安全大会」が開かれました。相楽地域から約一六〇人の会員が参加されました。開催地を代表して

和東町老人クラブ連合会、草水ゆき子副会長が「夜どうしても出歩く時は、明るい服装と反射材を身につけて歩きます。」と交通安全宣言を読み上げました。

木津署から「夜間の交通安全」について、元奈良県警察官のアマチュアマジシャン、ゼンジー南京さんからは交通安全の話を交えたマジックショーが披露されました。

最後に京都府警察音楽隊から音楽演奏が披露され、警察音楽隊から「音楽隊も指揮者のルールに従わないと音楽の事故となります。交通安全も同じで信号を守らないと事故につながります。交通安全ルールを守り事故にならないよう気を付けましょう。」と参加者のみなさんと固く誓いあわれました。



警察音楽隊のステージ

まをつけて～

# よ～い どん!



わづかほいくえん



うんどうかい

10月7日(月)和東保育園では運動会が開かれ、暖かい拍手、声援の中、かけっこやお遊戯などに一生懸命取り組みました。

この日は、朝から心配していた天候も徐々に回復し、秋晴れの中、全種目を子どもたちは楽しみました。

開会式では、岡田園長が「みんなで心を合わせ、最後まで力一杯がんばりましょう」と園児に励ましの言葉をかけ競技に移りました。

2歳児から5歳児のかけっこでは、一生懸命がんばること、転んでもくじけないことを約束に力一杯走りました。

また、1歳児は「親子で遊ぼう」ということで一緒にかけっこをしたり、お遊戯をし親子で楽しく演技をしました。異年齢児の団体競技では、玉入れをしました。みんなで力を合わせて一生懸命がんばりました。

運動会で経験したことは、子どもたちのところに園生活の楽しい思い出のひとつとして残っていくことでしょう。

みて みて  
じょうずでしょ～



まけないぞ～



ママ  
まんぶ  
うれしいな

